

食料自給率向上と食の安心と安全を考える

川口革新懇がフォーラムを開催

9月8日に川口市立青木会館を会場に「食料自給率向上と食の安心と安全を考える」と題したフォーラムを川口革新懇が開催しました。

第1部では「希望の給食：食と農がつむぐ自治と民主主義」というDVDを視聴。学校給食は子どもたちの健康と成長を担うとともに地域の食の農を結び付け、地域循環型経済の発展や給食の提供を担う公の役割を改めて問い直す内容となっていました。

第2部では「日本農業・食について考える」～食料自給率向上と食の安心・安全～と題して柳重雄弁護士が講演。日本の食料自給率の低さは国の存立にかかわり、脆弱な検査体制もあり輸入食品に頼ることは国民の安心安全にとっても心配な状況。日本の農産物輸入先1位はアメリカであり、食料確保の上でも従属状態にある。日本がきちんと農業を基幹産業として位置付ける政治に切り替える必要性をお話ししました。

参加者からは「見沼たんぼで新規就農者が農業をやるうえで融資の工面をするだけではだめで、野菜を洗う機械やトラクターを導入するための金銭的助成を行うべき」「県内にも安心安全のお米や野菜作りががんばっている農家もいる。食べて応援しているが、本来は政治が農業をたいせつにすべき」など討論がされました。



前号でもお知らせしたように日本共産党川口市議団は9月定例市議会前の議会運営委員会に「地域公共交通の充実のために財政支援の拡充を求める意見書」案、「清浄にして豊富低廉な水の供給のため国からの財政支援の拡充を求める意見書」案の2件を提案しました。今号では「清浄にして豊富低廉な水の供給のため国からの財政支援の拡充を求める意見書」案の全文を紹介します。

「清浄にして豊富低廉な水の供給のため 国からの財政支援の拡充を求める意見書」(案)

我が国の水道事業は、水道法のもと、水道の布設及び管理を適正かつ合理的ならしめるとともに、水道の基盤を強化することによって、清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与することを目的として推進されてきた。

本市では、経営の効率化、健全化に努めるとともに、将来にわたり水道を持続可能なものとするため、令和3年1月から平均改定率を25.01%とする水道料金の改定を行った。厳しい経営状況が続く水道事業者にとって、安定給水や災害対策のため実施している水道施設の更新及び耐震化にかかる事業費は莫大なものであり、健全な経営を維持するうえで大きな負担となっているが、本市の水道料金は、改定後もなお交付金の交付基準として国が示す料金に達しないことから、採択基準に合致せず、水道施設の更新や耐震化に対し、国からの財政支援を受けることができない状況にある。

一方、現在では、国際的な原料価格の上昇や円安による海外からの輸入コストの増加により物価高騰が続いており、賃金上昇が追いつかず厚生労働省の調査によると2年連続で実質賃金が低下している。

家計も営業も厳しい中、本年7月に埼玉県が水道用水供給事業の料金改定を令和8年4月から予定していることを発表した。値上げ後の卸売り価格は、1立方メートルあたり76円ほどとなり、現在と比べて、およそ23%の値上げになると見込まれている。この背景には人口減少、節水機器の普及による水需要の減少と共にダム建設や高度浄水処理、老朽施設更新など設備投資の負担があるとしている。埼玉県は秩父地域を除く県内の市町に浄水を供給しており本市では水道水の約9割が県から購入した浄水である。この値上げは影響が大きく、本市を含め多くの市町で水道料金が値上げされる可能性が高い。

地方公営企業法第3条には、地方公営企業は、常に企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営されなければならないと規定されていること及び水道法の目的を踏まえ、国は水道事業の公共性を重視し、水道施設の更新及び耐震化を保障するために財政支援の一層の拡充を行うよう求める。

革新懇とは？

もともとの名称は平和・民主主義・革新統一をすすめる全国懇話会。1980年に当時の社会党と公明党との間で結ばれた「社公合意」により、日本共産党を排除し安保条約容認を共通基盤とする反共野党連合がつくられ、政治革新を求める共同が困難に直面したのに対し、日本共産党と市民、民主的諸団体が力を合わせて生み出したものです。

革新懇は三つの共同目標（1、日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。2、日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本を目指します。3、日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします）を掲げて全国各地で活動がおこなわれています。

新川口

2024年9月15日 No.1759

日本共産党川口市議会議員団

川口市前川 2-28-10

TEL.267-8411 FAX.261-3528

<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまともこ

9月市議会で、平和と福祉を守り、教育が大切にされるまちづくりを提案 市民の声を届けてがんばります

9月定例市議会が9月3日に開会し、一般質問には日本共産党市議団から板橋ひろみ議員が登壇し、みなさんから寄せられた声を市政に届けています。

以下、板橋ひろみ議員の質問の項目をお知らせします。

なお、一般質問の様子は市議会ホームページから録画したものの視聴もできますので、ぜひご覧ください。

板橋ひろみ議員

一般質問項目

9月13日(金)10時～

1 平和首長会議加盟都市として核兵器廃絶への更なる取り組みについて

- ① 被爆の実相を語り継ぎ伝えること
- ② 「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名の取り組みについて
- ③ 「川口市平和都市宣言」を周知すること

2 生存権を保障する上下水道事業において公的責任を果たすこと

- ① 上下水道施設の更新及び耐震化に対する公的財政支援を積極的に行うこと
 - ア 上下水道施設の更新及び耐震化を保障するために財政支援の拡充を国に求めること
 - イ 埼玉県営水道の料金及び埼玉県流域下水道の維持管理負担金の改定について
 - ウ 川口市の水道料金・下水道使用料の住民負担を増やさないこと
- ② 水道料金について
 - ア 給水停止に至らなかった場合の対応について
 - イ 低所得者世帯に対する減免制度を導入すること

3 住み慣れた家で安心してらせる介護・福祉制度について

- ① 住み慣れた家でくらし続けられる訪問介護の支援策を講じること
 - ア 訪問介護の基本報酬引き上げを国に求めること
 - イ 市として訪問介護事業者への一部補填など一時金での支援を緊急に行うこと
 - ウ 地域密着型サービスの体制整備について
- ② 紙おむつ支給事業の要件を元に戻すこと
- ③ 補聴器購入費補助制度の活用促進策について
 - ア 制度の周知や申請状況等について
 - イ 国民健康保険の特定健康診査項目に聴力検査を加えること
 - ウ 制度の拡充について

4 児童生徒の心身の健全な発達を保障する学校給食の構築を

- ① 学校給食費無償化への取り組みについて
 - ア 学校給食費無償化の早期実施を国や県に求めること
 - イ 学校給食費無償化に向けた本市の取り組みについて
 - ウ 10月からの学校給食費保護者負担の引き上げをやめること
- ② 安心・安全で顔の見えるゆたかな学校給食を
 - ア 自校直営調理校の民間委託の見直しを
 - イ 新しい学校給食センターについて
 - (ア) 災害時や緊急時の対応について
 - (イ) 市の直営による管理運営とすること
 - (ウ) 食物アレルギー対応食の提供について
- ③ 栄養士の全校配置を行うこと



5 記録的な猛暑から住民の命を守る取り組みについて

- ① 生活保護制度の利用者に対し猛暑から命を守る取り組みを
 - ア 市としての状況把握と対応について
 - イ 夏季加算の創設を国に求めること
 - ウ エアコン設置費用等の支援策を講じること
 - (ア) 国に対しいエアコン設置費用を生活保護世帯に柔軟に支給できるよ求めること
 - (イ) 市としてエアコン設置・電気代補助制度の導入を検討すること
- ② 小学校体育館への空調機設置を急ぐこと
 - ア 体育館を使用した授業等への影響について
 - イ 空調機設置に対する市の考え方について

6 赤芝新田地区内の生活道路の安全対策について

